

ユース・アントレプレナーシップ事業の実施について ～ 市立日吉ヶ丘高等学校で若手起業家による講演会を実施 ～

京都市及び（公財）京都高度技術研究所では、令和3年度から若者のアントレプレナーシップ（起業マインド）を醸成する起業家教育の一環として、京都市内の高校生を対象に起業家教育の専門家やスタートアップ等の若手経営者による講演会を実施しています。

この度、京都市立日吉ヶ丘高等学校において、株式会社ハタプロの伊澤諒太氏、株式会社^{タリキ}talikiの原田岳氏をお招きし、下記のとおり講演会を実施しますので、お知らせいたします。

記

1 日 時

令和5年7月21日（金）午前8時45分～午前10時45分

2 会 場

京都市立日吉ヶ丘高等学校（〒605-0000 京都市東山区今熊野悲田院山町5-22）

3 参加者

京都市立日吉ヶ丘高等学校 普通科 1年生 200名程度

4 実施内容

テーマ①：AI×伝統×Web3でつくる世界の文化首都 ～大企業とベンチャーの共創で起業～

【講演者】株式会社ハタプロ CEO 伊澤 諒太

テーマ②：リアルな社会で爆発的に生きる ～社会課題を解決する起業家について～

【講演者】株式会社taliki 取締役 原田 岳

【テーマ① 講演者について】

伊澤 諒太（いざわりょうた）

2010年に通信機器メーカーを創業。2016年にNTTドコモと提携、共同でJV事業を推進。

2017年次世代通信技術を活用したAIロボット開発子会社を設立。2022年ワコールホールディングス、SMBC日興証券らと共同でWeb3教育プロジェクト「NEO KYOTO NFT ARTs」を設立。2023年AI×伝統×Web3で世界の文化首都をつくる「Proof of Japan」を共同で設立。兼務で代表取締役に就任。

株式会社ハタプロ

「新時代のフラッグシップをつくる。」を掲げ、2010年に創業。IoT・AI・ロボット等の先進的なデジタル技術が強みに、大企業と共同技術開発や、地方自治体と官民協働型の合弁会社の設立など、オープンイノベーションによる事業推進を行っている。

【テーマ② 講演者について】

原田 岳（はらだ たく）

株式会社 taliki のインキュベーション事業部にて、社会起業家育成プログラムの運営責任者を務める。

シェアハウス事業の立ち上げから展開、海外でのプロジェクトマネジメント経験を生かして、190 を超える社会的起業家の事業構築や伴走支援を実施。また、地方創生事業にも積極的に取り組んでおり、35 歳以下の多様なプレイヤーが対話し U35 の視点で京都の未来を描く「U35-KYOTO」のプロジェクトマネージャー等を兼任。政策提言や行政連携が得意。

株式会社 taliki

「生まれてきてよかったと誰もが思える世界」の実現を目指し、ソーシャルインパクトに特化したインキュベーター、シードファンド、データベースメディアを運営。社会課題がいつでも解決するような仕組みづくりを推進、事業開発・投資・販路拡大等をサポートしている。

5 問合せ先

公益財団法人京都高度技術研究所

地域産業活性化本部 人材育成支援部（担当：今井）

TEL： 075-315-3708

E-mail： info-startup@astem.or.jp

＜ユース・アントレプレナーシップの概要＞

京都ならではのスタートアップ・エコシステムの形成と発展を推進するため、令和3年度から若者のアントレプレナーシップ（起業マインド）を醸成する起業家教育の一環として、京都市内の高校生を対象に、起業家教育の専門家や、スタートアップ企業等の若手経営者を招き、講演会及びワークショップを実施。若者に「起業する」とはどういうことかを知ってもらい、自身のキャリアの選択肢として、「起業」の道があるということを伝え、若者が将来、「起業」を選択する可能性へと繋げていけるよう取組を進めている。

令和4年度は京都工学院高等学校、銅駝美術工芸高等学校、塔南高等学校の3校で実施し、計514名が受講。参加した生徒からは「したいことをまず見つけることが大切で、それに向けて努力していくことが必要だと学んだ」「決められた道や既にある所だけでなく、いろんな世界に目を向けて物事を考えることが大切だと思った」といった声が寄せられている。

なお、令和5年度は、美術工芸高等学校、日吉ヶ丘高等学校、開建高等学校、京都工学院高等学校の4校で実施予定。